

## 会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		平成25年度 第5回 川西市社会教育委員の会	
事 務 局 (担 当 課)		教育振興部 社会教育室 (内線 3421)	
開 催 日 時		平成25年11月27日(水) 13時00分～15時20分	
開 催 場 所		川西市立中央図書館	
出 席 者	委 員	生田議長、岡田委員、田中委員、廣末委員、米田委員、岸本委員、仲委員 計7名	
	そ の 他		
	事 務 局	泉教育振興部長、森下総務調整室長、上中学校教育室長、柳川社会教育室長、中定教育振興部参事、岸本中央図書館長、仲岡中央公民館長、山元こども家庭室長、沼人権推進室長兼人権推進課長、井上社会教育室副主幹 計10名	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数 0名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		1. 開会 2. 前回会議録の承認 3. 報告事項 (1)第55回全国社会教育研究大会三重大会の報告について (2)平成25年度兵庫県社会教育研究大会の報告について (3)阪神北地区社会教育委員協議会第3回理事会の報告について (4)各協議会の会議報告について (5)その他 4. 議題 (1)平成25年度年間研究テーマ「地域、学校、家庭をつなぐ社会教育のあり方」について (2)その他 5. その他	
会議結果		別紙のとおり	

# 審 議 経 過

NO.1

議長	<p>ただいまから平成25年度第5回社会教育委員の会を開会する。はじめに、今日の委員の出欠について、安藤委員、末澤委員、真鍋委員が欠席されています。また米田委員から少し遅れる旨、連絡がありました。</p> <p>開会にあたり、教育委員会並びにこども家庭部の方から挨拶をお願いしたい。</p> <p style="padding-left: 40px;">(教育振興部長挨拶)</p>
議長	<p>引き続き、市長部局のこども家庭部から、ご挨拶をお願いしたい。</p> <p style="padding-left: 40px;">(こども家庭室長挨拶)</p>
議長	<p>会議に入るが、まず2の前回の会議録の承認について。</p> <p style="padding-left: 40px;">(承認)</p>
議長	<p>次に3の項目の報告事項の(1)(2)について、事務局からお願いしたい。</p>
事務局	<p>3の報告事項の(1)から(2)についての報告</p> <p>(1)第55回全国社会教育研究大会三重大会」について</p> <p style="padding-left: 40px;">平成25年10月23日～25日</p> <p style="padding-left: 40px;">会場:三重県営サンアリーナ他</p> <p>研究主題「学校、家庭、地域を大切にしたい人が輝き、協創する社会教育の推進」について</p> <p>シンポジウム</p> <p style="padding-left: 40px;">分科会 第1分科会 学校を大切にする</p> <p style="padding-left: 40px;">第2分科会 家庭を大切にする</p> <p style="padding-left: 40px;">第3分科会 地域を大切にする</p> <p style="padding-left: 40px;">第4分科会 青少年が輝く</p> <p style="padding-left: 40px;">第5分科会 大人が輝く</p> <p style="padding-left: 40px;">第6分科会 協創する社会教育の推進</p> <p>(2)平成25年度兵庫県社会教育研究大会</p> <p style="padding-left: 40px;">平成25年11月19日 11:00～15:40</p> <p style="padding-left: 40px;">会場:兵庫県民会館</p> <p style="padding-left: 40px;">講演 演題「社会教育活性化の『鍵』は、社会教育委員」</p> <p style="padding-left: 40px;">講師 全国社会教育委員連合常務理事 坂本 登 氏</p> <p style="padding-left: 40px;">分科会 第1分科会 「相生っ子学び塾」事業について</p> <p style="padding-left: 40px;">第2分科会 地域教育の要となる地域文化の共有をめざす</p> <p style="padding-left: 40px;">第3分科会 市民が自ら学ぶことの楽しさを実感できる機会の提供</p>
議長	<p>次に(3)の報告について、事務局より報告をお願いしたい。</p>
事務局	<p>阪神北地区社会教育委員協議会第3回理事会</p>

# 審 議 経 過

NO. 2

	<p>平成 25 年 10 月 8 日 14:00 ~ 伊丹市立中央公民館</p> <p>議題 阪神北社会教育委員協議会第 2 回研修会について 2 月頃を予定、講師については、候補者の中より事務局に一任</p>
議長	<p>(4)の各協議会の会議の報告等について、各委員の方でなにかあればよろしくお願ひしたい。</p> <p>それでは、事務局の方からも提案を頂き、年 1 回は社会教育施設で委員の会をしたらどうかという事で今回、川西市立中央図書館で開会させて頂いている。川西の図書館運営事業について今日は現場に来ているので、説明をお願ひしたい。</p> <p style="margin-left: 40px;">中央図書館長から、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 24 年度の事業概要報告と 25 年度の主な事業の説明</li> <li>・ 図書館システムの更新、参画と協働による図書館機能の充実ということで“まちづくり情報コーナー”の設置や図書館ボランティアの育成と活動支援、利用者アンケートの実施結果などについて説明 -</li> </ul>
議長	<p>今の説明について、質問、ご意見、感想などをお願ひしたい。</p>
D 委員	<p>図書ボランティアの仲間によく言うのは、駐車場があれば北部の方ももっと利用されるのではということである。</p>
C 委員	<p>本の回収はきっちりできているのか。</p>
事務局	<p>阪神間も含め、全国はどこも同じですが、弁償制度というのがあり、同じ物を現物で弁償して頂いています。それでもまだ毎年 100 件程は、返却を調整しているという状況です。ただし、入口に P T S 装置という本を無断で持ち出すと音が鳴る装置があるのですが、これを 17 年に導入したことでそれまで 2000 冊程、行方不明だったのが 150 冊程度になり、大きな効果を生んでいます。</p> <p>雑誌については職員が毎日点検するのですが、その他の本についてはなかなか点検ができないので、月 1 回の館内整理日を作り、また年に 1 回特別整理期間という事で 1 週間かけて本を探して元の場所へ置くという作業をしています。</p>
議長	<p>川西市では教育委員会も含めて図書教育や図書館あるいは学校図書室の充実の重要性というのは常に出てきている。</p> <p>かつて川西では、図書館の分館をという様な北部を中心とした市民活動などもあった様に思う。学校教育の中では、学校司書の充実という形で教育委員会に頑張ってもらっていると同時に、市民活動の方で図書ボランティアの読み聞かせなどのボランティア活動が定着している。</p> <p>図書館の蔵書が 31 万冊と少ないのは、これは施設の面でもう限界を超えているということか。</p>

# 審 議 経 過

NO. 3

事務局	<p>許容は30万冊のため、約1万冊多く、横置きなどをしている。これについては、予算要求で棚を増やせないかと要求はしているが、実際に予算はつか分からないので、あと努力できる事はしようという事で、閉架書架の壁面に新しい棚が作れないかと、職員が作業しながら、棚の購入などできる範囲からやり、皆様にできるだけ多くの図書を見ていただくと思っています。</p>
議長	<p>阪神北地区社会教育委員協議会の研修会が、本年度は伊丹の新設された図書館“ことば蔵”であり、見学をしたが、川西も頑張ってもらいたいという事を市民としてこれからもお願いをしていかななくてはと思った。</p> <p>学校での図書室運営等々で考えておられることがありましたら、お願いしたい。</p>
H委員	<p>図書ボランティアの方に読み聞かせや折り紙教室などをして頂き、子ども達はすごく楽しみにしており、その時は図書室を利用する子ども達も増えるというのが現状だが、ただ、なかなかボランティアの方が集まらないということがある。</p> <p>図書室の利用を積極的に勧め、ブックトークで子どもに良い本を紹介したりという事はしているが、図書室専任の図書館司書が配置されていないこともあり、図書担当に任せているという感じがある。ただ、学校司書が配置という事になったことで、だいぶ変わって来た。知識もたくさん持っておられるので、本の紹介を掲示でやって頂いたり、図書室の書架の並べ方もアドバイスを頂いたりしている。とにかくボランティアの方や学校司書の方の活用を上手くやっていくことで、図書室の活用が活性化できる様にしていければと思っている。図書に親しむということは、子どもの心を育てるのに非常に大きいと思う。たくさん本を読んでいる子は心や発想が豊かだというふうな事を感じるので、そういうものが進んでいったら良いと思う。</p>
議長	<p>図書館の知的財産的なところの数字ではなかなか表されない形の成果というのが人間形成の中でもものすごくある。その都市での図書館の施設や設備が、その都市の文化を象徴する様な一面がある。</p>
D委員	<p>図書司書の横のつながりで、図書室をもっと子ども達が使いやすくするようにという研修をしている。図書館でもそうだと思うが、普段使っていない人をどれだけ呼び込むかというのが課題ではないかと思う。</p>
C委員	<p>確かに図書館というのは何に結果が出ているのだという事を思われるだろうが、やはり、人間形成の要になる様な所で、これは、結果が目に見えなくても力を入れなければならない場所である。いわば市のシンボルみたいなものだから、それによって人が育ち、知らず知らずの間に人間形成されて行く場なので、大事にしないとイケない。</p>
議長	<p>先ほどの図書の紛失の件は、学校教育だけの問題ではなく、大人の社会規範の問題であったり、公的な施設の問題であったり、そのあたりのところの部分をやはり皆で考えていかななくてはならない。</p>
F委員	<p>私は保育所で団体貸出しを利用して頂いている。保育所が貸出しを受けて、子どもだ</p>

# 審 議 経 過

NO. 4

	<p>けでなく、お母さんに紹介する本とか、いろいろと幅が広がってきて、色々な面で潤ってきている。年長児は貸出しの時にたまに來させてもらい、ここではどういふふうにするとか、マナーを学ぶ場で利用させてもらったりしている。</p> <p>いらなくなったという言い方はなんだが、そういう本は、保育所とかそういう所ではいただけるのですよね。おかげで今は本がすごく充実している。</p>
事務局	<p>多分、それは図書館の事業というよりも川西市の方で「子どもの読書協議会」という協議会を持っており、その中で市内のそういう施設に配りましょうという事業をしています。</p>
C委員	<p>今の時代は、インターネットひとつでいろいろな事を調べられるが、それと図書館の本との利用関係はどうなっているか。</p>
事務局	<p>インターネット回線に直接つないでおり、図書館の調査相談室という所へ来ていただいたら、ご自分で見ていただける。いわゆる相乗効果で知的情報の拠点となりうる施設を目指すべきかと思っています。小説や雑誌だけではなく、幅広く様々な資料を置いて市民の皆様様の疑問や問い合わせにお答えする。手紙の書き方などの身近な調べものの方から、インターネットだけでは理解できない部分があっても、図書館の職員が窓口となってその糸口を見出し、解答が川西の図書館で見つからない場合は、国会図書館まで問い合わせせて情報を仕入れられている方までいらっしゃいます。</p>
議長	<p>公民館における図書だが、この利用回数が10年前と比べて断トツに増えている。インターネットでつながり、予約ができるというシステムになり、その辺、北部地域はいかがか。</p>
F委員	<p>公民館図書室の利用者は多いが、やはり北部は猪名川町の図書館に行ってしまう。それと昔、移動図書館があったが、結構好きでよく利用していたのにいつの間にか無くなっていった。</p>
議長	<p>それは多分10年くらい前の話で、いろいろ論議されてなくなったのだと思うのだが。それでは、図書館の今後について事務局に説明していただけたらと思う。</p>
事務局	<p>図書館というのが非常に大きな曲がり角に來ているという事は間違いなく、その先鞭を付けたのは蔦屋さんが図書館の中に入った武雄市です。図書館の機能を問うた時、今回のアンケート調査結果の中でも出ていましたが、本を借りる所というのがほとんどです。そこに求められるのは何かと言うと、長時間開いていて、休みが無く、駐車場があり、気軽に行けて、新刊が読めてということです。そうなると、蔦屋さんなどいわゆる図書の流通販売業者と組んだところに指定管理を置くこと非常に楽です。</p> <p>現実問題としまして、今年度は正規職員が館長を入れて4名になり、正規職員でローテーションの勤務が組めない状態が出て來ています。そういう限界の所にきて、どういふふうには職員も含めて事業運営して行くのかというのが、これからの図書館の大きなポイントであると思っています。</p>

	<p>また、図書館が本来持っているレファレンス機能をもう少し充実させて行く必要がありますが、その機能がどこの図書館も弱まっています。</p> <p>川西の図書館はどういう役割を担っていくのかという事ですが、市の一つの図書館で全ての機能を担う事はもう難しいだろうということで、それはすでにどこの市の図書館も考えておられる事で、特に阪神北の管内の中で連携し、それぞれの図書館の強みを持ちながら、住み分けていくことを今後考えて行く必要があると考えています。</p> <p>それと川西の問題として、南北に長い地形でありながら南部にしか図書館がないという点については、今後一定の様々な工事等が終わった段階で、やはり考えて行く必要があるかと思えます。新しい図書館を造るとなると、今の財政状況の中では難しいですので社会教育施設や学校施設を再建したりする時に、余剰となった施設をいかにうまく活用していくのかという事も含めて様々な可能性を探って行く必要があるかと思えます。</p> <p>また来年は学校の図書館を公立図書館としてサポートできないかということで事業計画を立て、予算要求などもそういう方向で進めております。</p> <p>公立図書館が本の貸し出しだけでなく一番のポイントとして、一つは公文書館の役割を担えるかどうかと、もう一つは、町づくりです。地域の人達が自らの町をどうしていくのかを考え、判断し、行動するという作業が必要になった時、公民館を中心にしながら、更にそのバックに図書館があり、必要な資料をいかに提供できるかという様なところを強化していく。それは公共図書館でないといけない部分であり、そこに視点を置いて行くという事がこれからの公共図書館のあり方なのかと思えます</p>
議長	<p>今の公文書館の発想など、見る角度を変えたら予算が無くてもできる企画の部分であろうかなと思う。町づくりの部分で市民活動について、実際の活動の仕方やNPOの組織についてなどの情報提供などを、ぜひ行政の方でも橋渡しのコーディネーター役をしていただけたらという様な場面がある。</p> <p>ここやはり公的な施設のふんばりどころで、考え、見方を違った角度からしていただけたらと思う。</p>
E委員	<p>図書館の活動について、他の地域を見ると何かすごく物足りないと思う。図書を通して人と人がつながるには、伊丹の「ことば蔵」の読んだ本の帯に感想を書いて、ボックスに入れ、それを見た人がそれで本を読んでまた感想を書いて、それで新たな人同士が知り合えるというようなつながりを持つ活動である。また、自分が読んだ本を5分位で紹介し合い、聞いた人がどの本を一番読みたいと思ったかを投票して決めるという、ビブリオバトルを図書館の中でイベントとしてやり、新たな本を紹介するという様な発想もあつたら、つながりが少しでもできるのではないかと思う。</p> <p>あとは、大人のマナーがしっかりしないといけな。それが悪いとどんな公共施設も値打ちがなくなると思う。それは社会教育全般で、その基礎は家庭にあるのだろうというふうに思えてしかたがない。子ども達の支援事業や相談事業に一人でも二人でも行った事で解決できた言う人が増え、そして家庭を健全な子どもが育つ場にする事で、マナーが育ち、自立心が育つという様な事を思う。</p>
議長	<p>川西には色々な地域活動をしている多くの団体がある。生涯学習センターや公民館で、学ばれた人達が本当に宝のごとくいらっしゃるのを痛切に感じているが、そのニーズをど</p>

# 審 議 経 過

NO. 6

	<p>う引き出し、まとめるか。まとめなくてもそれぞれ活発に動いてもらったらいいと思うのだが、その辺のことを、常に考えてしまう。事務局に意見を頂けたら我々も参考になると思うので、お願いしたい。</p>
事務局	<p>施設をよく利用される方からどの施設に行っても同じ顔ばかりであるという意見をよく聞くのですが、ただ、その方々のほとんどは、自治会であったり、地域のイベントであったり、ボランティア活動、そういった所のお顔とも共通しているわけなのです。しかし、地域・学校・家庭をつなぐ社会教育のあり方について生涯学習センター、公民館という施設だけ見るのではなく地域力という広い観点で見ると、結構うまく育っていった社会になっているのかなという一面も感じるところです。</p>
議長	<p>F委員は、コミュニティなどいろいろな所で活躍されているが、いかがか。</p>
F委員	<p>自治会に入ると色々役も回ってきて嫌かも知れないが、やってみたら意外と楽しかったという方が多いが、やはり自治会に加入しない。参加するという事で先ず一步踏み出せば、結構そこでは広がっていくという事があるのだが、なかなかその一步が踏み出せないという方も多かったです。</p>
議長	<p>C委員さんも、ボランティア活動で、地域とのつながりをつなげていらっしゃるが、自分の地域を含めてそういう所の現状というのはいかがか。</p>
C委員	<p>私個人としては、私の地域は、非常に地域と住民の皆さんが密着しながらうまく進んでいるのかなあという気はする。地区でこの人はこういうことが得意だということなどを理解し、そういうことがあった時はお願いして出てきてもらい、うまくいっている方じゃないかなあという気はするのですが。</p>
議長	<p>やはり地域によって特徴があり、進んでる所もあれば進んでない所もある。川西の場合はコミュニティ活動の組織がしっかりしている。南部地域の活動の部分ではいかがか。</p>
I委員	<p>南中学校で“どんと祭り”というのがあり、今年で37回目だった。主体は全て地域で、行事の中で地域と子ども達、それから若い年齢層の保護者の方とが一つになる機会かなあという捉え方をしている。異年齢の交流がその二日間で行われるという意味では非常に地域性のあった行事かなと思う。しかし、反省を元に約1年前から来年度に向けて企画立案をやっておられる地域の方々のご苦労負担が本当にすごいと思う。非常に大きなエネルギーがいるということを感じている。</p>
C委員	<p>一番大事な一番小さな集まりは自治会。自治会で役に当たったら大変だという事考えを少し変えてもらえれば良いのではないかなと思う。自治会で役になっても苦しい事は皆で応援するからそんな苦しい事ではない。だから、自治会に入ったら楽しくなるよ、という様な事を大いに宣伝して。そういう心遣いでうまく自治会運営をする。</p>

# 審 議 経 過

NO.7

議長	<p>三重大会の開催要項の表紙に書いてある様に、学校において、家庭において、地域においてというその3つの部分をどうつなげていくかということを社会全体が取り組んでいく中で、社会教育委員の立場で、また地域のコーディネーター、リーダーとしてどうつなげていくかというところを常に意識しながら、あるいは今の学校教育現場に対しての支援のあり方や、また学校教育が抱えているところの部分の発信など、具体的にひとつひとつの場面で顔をつないでいく。絆、絆という事はやさしいが、やはり、ひとつひとつ動いていくという形の中でしか成り立たないという様に思う。</p> <p>後は予算のかからない中でシステムを常に見直しながら我々は発信をしていく努力をしていく。それと同時に、行政、特に社会教育。町づくりもあれば人権の問題もあり、食育の事、文化の事もあり、範囲が広いので、行政に参考になる形の意見というものを我々委員が任期の間は発信をしていけたらという様に思っている。</p> <p>1月には教育委員さんと意見交換の場を事務局の方にもお願いしている。</p> <p>社会教育委員の会は、2月が最終になるので、一応今までの分をまとめた形で教育委員会の方に文章をもって提出をして次年度へまたつなげていけたらという様に思っている。最後になったが、事務局から次回等のことも含めご説明願いたい。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">教育委員会の委員の異動について</p> <p>平成25年9月30日付をもって松榮教育委員長が委員任期満了に伴い、退任。 10月1日付で服部保氏が教育委員会の委員に就任、選挙の結果、服部保氏が委員長。</p> <p style="text-align: center;">社会教育委員と教育委員との意見交換会の開催について</p> <p>平成26年1月23日(木)午後3時半から4時頃を開会で開催を調整中。 これに併せて、社会教育委員の会を当日の1時半頃から予定。 詳細は決まり次第、後日文書にて連絡。</p> <p style="text-align: center;">平成24年度の事務事業評価報告書について</p> <p>社会教育については、89ページから後に事業掲載。</p>
議長	<p>平成24年度の事務事業評価報告書が評価委員によって示されているので、これは総括的にまとめられて参考になると思うので、次年度に向かって、委員の皆さんの立場で、論議の場面があったら活用して頂けたらと思う。</p> <p>以上を持って社会教育委員の会を閉会する。</p>